

第2回 基盤研究 (A)「社会的記憶の観点からみたアンデス文明史の再構築」(代表 關雄二)・基盤研究 (B)「総合資料学にもとづく古代アンデス文明の社会統合の解明」(代表 鵜澤和宏) 共同研究会

日時: 12月27日(日) 09:00-11:00 (Japón)

(26 de diciembre(sábado): 19:00-21:00 en Perú y Florida)

会場: オンライン (Zoom)

内容

発表者: Gabriel Prieto (University of Florida)

タイトル: El pasado de un tiempo antiguo: evidencias y perspectivas en la manipulación de sitios y materiales en diferentes ocupaciones arqueológicas en Huanchaco, Costa Norte del Peru.

発表はスペイン語で行います。1時間程度の発表、その後質疑応答を行います。質疑応答は、英語、スペイン語で受け付けます。

プリエト氏は、ペルー国立トルヒーヨ大学、ペルーカトリカ大学大学院を経て、米国イェール大学で博士号をとられた新進気鋭の若手考古学者です。北海岸のトルヒーヨ市近郊に位置するグラマロテ遺跡を発掘されました。